

大気汚染モニタリング機材提供のための交換公文署名式

9月29日、日本政府とアルメニア共和国政府との間で無償資金協力「経済社会開発計画」に関する交換公文の署名式が行われました。

署名は、青木豊駐アルメニア日本国大使とハンバルツム・マテヴォシヤン環境大臣が行いました。

本事業は170万米ドル(約2.5億円)の予算で、大気汚染問題に対処しているアルメニア環境省に対し、大気汚染モニタリング機材を提供します。これにより、継続的かつ体系的な大気のモニタリングが可能となり、データの質と予測能力向上も期待されています。

青木大使はスピーチで、日本が1970年代まで深刻な大気汚染に見舞われた歴史があることを紹介しつつ、それらの経験を踏まえ、先進的な大気のモニタリング技術を発展させてきた旨、また日本の技術と専門知識がアルメニアの大気汚染問題の解決に貢献することを願う旨述べました。



スピーチする青木大使



交換公文への署名



署名を終え、交換された公文



マテヴォシヤン環境大臣の閉会の辞